

## 令和5年度 SSH 生徒研究発表会

8月8日(火)から8月10日(木)の3日間 SSH 生徒研究発表会に参加しました。この発表会は文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の主催で、全国の SSH 指定校等の生徒が日頃の研究成果を発表し、生徒の科学技術に対する興味・関心を一層喚起するとともに、SSH の成果を広く発信することを目的としています。会場は神戸国際展示場で、今年度は参集及びオンラインを組み合わせた複合形式で開催されました。参加したのは理数科の3年生3名です。

1日目は現地へ移動し、各校のブースでポスターの貼り付けや発表練習など、発表の準備を行いました。会場は物理・化学・生物・地学・数学情報の5分野で分けられているので、興味のある分野をまとめて見に行くことができました。

2日目はポスター発表を行いました。各校は9:00から16:00の間でコアタイムが設定され、その時間はブースで発表を行い、それ以外の時間は他校の発表を聴きに行ったり、他校の生徒や教員と交流をする時間でした。本校は

数学・情報分野「点と曲線との距離に関する考察」のポスター発表をしました。発表では審査員による8分間の審査も行われました。16:30からは大ホールで全体会があり、審査員による代表校の選出や分野別講評が行われました。

3日目の午前中は代表校による全体発表が行われました。どの代表校の発表も興味深いもので、それら発表に対する質疑応答でも白熱した議論が交わされていました。午後は最後のポスター発表を行い、その後大ホールの全体会で表彰や全体講評が行われました。ここでは審査員の審査を受けて、文部科学大臣表彰、科学技術振興機構理事長賞、審査委員長賞など、様々な賞の受賞校が決定され、さらに現地に参集した各校の生徒による投票で生徒等表彰が決定されました。本校は惜しくも受賞とはなりませんでした。他校の発表もたくさん見に行き、他校の生徒や教員、大学の先生など、様々な人と交流し、議論し、充実した発表会になりました。



↑写真① ↓写真②



↑写真③ ↓写真④



SSH 活動掲示板は

こちら↓



これまでの SSH 通信は

こちら↓

